



今回の児童・生徒のコーナーは、南条小学校の児童の作品を紹介します。

(敬称略)



2年 ひでしま りえ

うさぎ

はじめて、うさぎのあかちゃんをだいでみました。

あたたかくて、けがさらさらしていました。

目は、くろくて、うんだおかあさんとよくにいていました。

耳が小さくて、おしりも小さくて、ついさわりたくなります。目もひかっています。くさをたべているときは、とつてもかわいいです。いくらたべても、ぜんぜん大きくなりません。はやく、大きくならないかなあとおもいます。



3年 さいとう大すけ

こくごのじかん

めぐちゃんに、けしゴムをかしてあげた。でも、とちゅうで、ぼくがとつちやつた。

そして、ズボンのポケットにかくしてしまつたの。

めぐちゃんがとりかえそうとしました。めぐちゃんが、ぼくのおどかしました。

「とつちやうよ。」と、おどかしました。ぼくは、さいしょから、めぐちゃんにまたかそうと思つていたのに、先生が、めぐちゃんにけしゴムをかしちゃつた。

「なんだよ。先生。」ぼくは、くやしかつたです。

もう、けしゴム、かしてやらない。



4年 さくま やすよ

四年生になつて

いよいよ四年生。

「先生は、だれかな。」と、とても心配でした。でも、去年と同じ、さいとう先生でした。とてもうれしかったです。

今学期は、ふく委員長になりました。

みんなの代表として、がんばりたいと思います。

お母さんが、「三年生と、四年生では、一年しかがわらないけど、いろいろなことでちがいがあんだよ。」と言いました。「それは、なあに。」と聞いたら、「四年生からは、高学年のなか間入りだからだよ。」と言いました。

これからは、下級生のお手本になるように、気をひきしめて、がんばりたいと思います。

そして、四年生からは、委員会や、クラブ活動にさんかしたり、りく上練習などにも、さんかします。五、六年生の、足手まといにならないようにしようと思ひます。



5年 布施 孝雄

水たまり

外にでて水たまりを見つけた。

それに石を投げた。

円が何重もできて

またもとにもどつた。

水たまりに

自分の顔がうつつていた。

少ししんどうをあたえたら

顔がぐちゃぐちゃになつた。

おもしろい顔だなあ。

すこしたつと

水たまりはまた

ひかり俳壇

幾十年さかりし戦友との再会に
名乗り合ひつつ消えぬ佛
伊藤 定男

楢林歩いて偲ぶシベリヤの
ノルマ厳しき伐採の日は
鈴木甲子幸

医に生きて離さぬ白衣病には
勝てず我が身は人に委ねて
鈴木 恵美

春彼岸うから連れだち亡き人に
語りかけつつ香華手向くる
岩沢 芳江

年ながく農を支えて骨太く
皺みたる手の母に似て来ぬ
越川 雪枝

春の夜の照明映ゆるグラウンドに
早くも野球の若人つどふ
藤代 敏子

静かなる昼の山畑打つ人の
見えがくれして陽炎の中
土屋 好

融けそめの速き雪なり軒の端は
朝より雫の断え間なき音
竹内 紀葉

融けそめの速き雪なり軒の端は
朝より雫の断え間なき音
竹内 紀葉

融けそめの速き雪なり軒の端は
朝より雫の断え間なき音
竹内 紀葉